

### 機械工学科【ディプロマ・ポリシー】

機械工学科は国際社会において機械技術者として活躍するための基礎学力を有し、社会情勢の急激な変化に柔軟に対処できる情報処理能力と情報解析能力を備えた人材を育成する。そのため、機械工学科目で設定された講義ならびに演習・実習の単位を修得し、さらに卒業研究の論文提出・発表を行って、以下の項目に挙げる能力を身につけた学生に対して、卒業を認定する。

- (1) 機械工学の基礎となる4力学（材料力学、熱力学、流体力学、機械力学）に関する基礎知識の習得と理解
- (2) 機械設計技術の基盤である数学、物理学、情報処理の基礎を理解し、その理論や概念を説明できる能力
- (3) 機械や製品を製作するための生産・設計・加工・計測・制御に関する原理を理解する能力
- (4) 実験や実習、卒業研究を通して、課題を理解し計画的に実行する能力
- (5) 課題に対する内容を文章や発表によって論理的に表現することができる能力
- (6) 国際社会において必要なコミュニケーションの基礎能力
- (7) 機械技術が地球環境や社会に及ぼす影響を理解し、倫理観と責任感持って業務にかかわる姿勢

### 機械工学科【カリキュラム・ポリシー】

機械工学科では、ディプロマ・ポリシーにて掲げた能力を持つ人材を育成することを目標として、以下の科目群を用意している。

- (1) 機械工学の基礎科目：4力学（材料力学、熱力学、流体力学、機械力学）を基盤とした基礎専門科目
- (2) 機械設計技術の基盤科目：数学、物理学、情報処理の工学基礎科目
- (3) 機械製作に関する科目：生産・設計・加工・計測・制御の科目
- (4) 技術修得に関する科目：機械工学実習、機械設計製図、機械工学実験などの実技科目
- (5) 課題解決能力育成科目：創生工学実習、機械工学基礎研究、卒業研究などの課題解決能力、チームワーク力といった総合的能力を開発するための科目
- (6) コミュニケーション能力育成科目：国語・外国語の科目
- (7) 技術者倫理に関する科目：技術者倫理の科目

これらの科目群に係る単位修得の認定はシラバスに基づき主に定期試験によるものとするが、科目等によっては、レポート等の評価結果により認定する。

授業科目の成績は、各科目シラバス記載の方法により評価する。

### 機械工学科【アドミッションポリシー】

- (1) 数学と理科を得意科目とし、広く「ものづくり」に興味があり、自動車や航空機など生活に役立つ機械を設計・製作する機械技術者になることを強く希望している人
- (2) 目標を達成することの喜びを知り、たゆまない努力をする覚悟のある人
- (3) 社会・自然環境と技術との関わりに関心のある人